

だがしや楽校@第108回山王ナイトバザール：山形県鶴岡市発

日時：2011年10月15日（土曜日）18:30～21:00

場所：山形県鶴岡市山王商店街

2011年10月15日（土曜日）曇り

【だがしや楽校@第108回山王ナイトバザール】

今年最後の“だがしや楽校@山王ナイトバザール”です。

これまで何度もご紹介している“だがしや楽校@山王ナイトバザール”ですが、簡単に“山王ナイトバザール”について説明しておきます。

山形県鶴岡市の中心商店街のひとつ・山王商店街が、毎年5月～10月の第3土曜日の夜に開いているのが“山王ナイトバザール”です。“山王ナイトバザール”は、中心商店街ににぎわいを取り戻すための取り組みですが、昔ながらの商店街の雰囲気醸し出したいということで、“夜”にこだわり、ナイトバザールにしたのです。

“山王ナイトバザール”がスタートしたのは、1994年（平成6年）。これだけ長く続いていますので、市民にも浸透し、毎回大勢の人出でにぎわいます。

山王商店街は、中小企業庁の“新・がんばる商店街77選”にも選ばれています。

“山王ナイトバザール”では、子ども向けのゲームコーナーを設けていましたが、マンネリ化となり、子どもたちからも不評を買っていました。そんな時、山王商店街の阿部久書店は商売柄いち早く“駄菓子屋楽校”（2002年・新評論）が発行されたことを知り、執筆者が山形在住である松田道雄さんだったこともあり、松田さんへ問い合わせたことをきっかけに、“だがしや楽校@山王ナイトバザール”が始まりました。

それ以降は、子どもたちにも好評となり、“だがしや楽校”が鶴岡・庄内地域へ浸透していくひとつの基盤となりました。

子どもたちに好評である理由は、これまでにない様々な遊びや体験ができることもありますが、学生さんをはじめ、世代を越えたいろいろな人、それも鶴岡だけでなく、山形市など地域を越えていろいろな人と触れ合うことができるからです。

それでは、今年（2011年）最後の“山王ナイトバザール”をご紹介しましょう。

“山王ナイトバザール”の特徴は、これだけの人出にもかかわらず、歩行者天国にしていらないことです。ですから、ナイトバザール開催中も、道路では車が走行します。しかし、この人出で車が遠慮がりに走行します。でも、これが本当の車の運転です。道路は車優先ではありません。



特に今回は、道路工事が佳境に入り、一部で片側交互通行（左の写真の奥）になってしまい、いつも以上に車が通りにくくなりました。また、歩行者にとっても歩きにくくなりました。何より、工事はお祭りの風景に水を差す感じがしました。

実は、山王商店街の通り（街路）は数年間にわたり、工事が続きました。正直私（山口）も閉口したほどです。「工事が進んだかな～」と思うと、同じところを掘り返すことが続きました。いろんな事情があったそうです。しかし、第三者としての私の目にも少々疑問を感じるようになりました。

その工事が、ついに完了することになりました。

この日の“山王ナイトバザール”では、半月あまり後の11月5日（土）“山王通り街路完成記念祝賀祭”が開催されるというチラシが配られていたのです。これは当事者でない私ではありますが、山王商店街の皆様にお大変お世話になっていることもあり、また“だがしや楽校”普及事業の関係で、山王商店街の一角に事務所を構えるNPO法人公益のふるさと創り鶴岡の一員としても仕事をしているので、自分自身のことのように、とても嬉しいことです。

そう考えますと、この日の“山王ナイトバザール”は、山王商店街にとって、歴史の1ページになります。

古本屋でもある阿部久書店前もこの通りのにぎわいです。阿部久書店は、公益のふるさと創り鶴岡の常務理事・阿部さんが経営しています。（↓）



その近くの“山王マルシェ”では、野菜は地域の特産品を販売しており、こちらも大にぎわいです。（↑）

山王ナイトバザールでは、新鮮な海産物を販売するお店もたくさん出されます。さすが海に近い庄内地方です。(↓)



今年5月にオープンした山王商店街の新たなスポット“さんのう夢ほっと”前です。こちらにもぎわっています。(↑)

山王神社社務所での福引きには、この日も100メートルほどの長い列ができていました。(↓)



山王神社では、山王の杜コンサートが開かれました。この日は、3組のジャズバンドによる演奏でした。(↑)



↑ テント村



↑ 酒屋さんは寄り合い場になっていました

山形大学農学部が展開している東日本大震災復興支援ボランティア・プロジェクト活動について紹介する“走れ！！わあのチャリ”というブースです。

山形大学農学部では毎週のように被災地支援活動を行っています。

“走れ！！わあのチャリ”については

<http://bikesofhope.web.fc2.com/>

をご覧ください。



それでは、この日の“山王ナイトバザール”での“だがしや楽校”をご紹介します。



▼紙芝居

1週間前の“だがしや楽校全国寄り合い2011・子どもサミット”でも大活躍された“創作紙芝居劇団だだちゃまめ・中村さんによる紙芝居口演です。



始まる前にお菓子を買って、クイズがあって、子どもたちにも紙芝居を創作してもらいます。



この日は、十八番“黄金バット”のほかに、新作を披露されました。相変わらず大人気です。

続いて、東北芸術工科大学・大学院のY nさんたちのおみせです。

▼てづくりたいよう



みんなで大きな太陽を描きます。ペンで描いても良いし、紙を切って貼って描いても良いです。



おやおや、赤ちゃんまで参加(?)しています。

▼巨大らくがき



単なるらくがきではありません。大きな大きならくがき帳です。



らくがき帳はしっかりした作りですので、重いです。らくがき帳には、みんなの思いが詰まっています。石巻の子どもたちの思いも詰まっています。

▼かえっこバザール

鶴岡の“だがしや楽校”ではお馴染み、おもちゃのかえっこコーナーです。“だがしや楽校”でいっぱい遊んだり、要らなくなったおもちゃを持ってくると、おもちゃとかえっこできます。



子どもの体験広場普及員の Doi さん、鶴岡工業高等専門学校 of S さん、山形大学の S さんたちが、子どもたちを見守っていました。



この日は、お天気は曇りがちでしたが、比較的暖かく、“山王ナイトバザール” 終了時刻の午後 9 時近くまで、にぎわっていました。

“山王ナイトバザール” では、毎回のよう、山形大学農学部の学生さんがボランティアで参加しています。この日も 20 名ほどの学生さんが大活躍、“山王ナイトバザール” を盛り上げていました。

市民に、地域に、完璧に浸透している“山王ナイトバザール”、そして“だがしや楽校@山王ナイトバザール” は、今年も『継続』の大切さを教えてくれました。

また、来年の“だがしや楽校@山王ナイトバザール” を楽しみにしましょう。

企画・制作・編集・文責

山口充夫

だがしや楽校コーディネーター